

耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物（木更津市所管分）】

小学校、中学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価結果	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性	耐震改修の予定		備考
							内容	実施時期	
1	祇園小学校	木更津市清川一丁目1番1号	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.14$ $C_{Tu} \cdot S_D=0.88$ ($I_{so}=0.70, Z \cdot G \cdot U=1.0$)	Ⅲ	-	-	耐震改修済
2	木更津第二小学校	木更津市文京5-6-24	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.1$ $C_{Tu} \cdot S_D=0.79$ ($I_{so}=0.70, Z \cdot G \cdot U=1.0$)	Ⅲ	-	-	耐震改修済
3	木更津第二中学校	木更津市請西941	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{Tu} \cdot S_D=0.36$ ($I_{so}=0.70, Z \cdot G \cdot U=1.0$)	Ⅲ	-	-	耐震改修済
4	畑沢中学校	木更津市畑沢1053番地1	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.2$ $C_{Tu} \cdot S_D=0.85$ ($I_{so}=0.70, Z \cdot G \cdot U=1.0$)	Ⅲ	-	-	耐震改修済
5	富来田中学校	木更津市真里谷275番地	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{Tu} \cdot S_D=0.76$ ($I_{so}=0.70, Z \cdot G \cdot U=1.0$)	Ⅲ	-	-	耐震改修済

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

診断方法	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。	II 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。	III 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
○ 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $CTU \cdot SD < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq CTU \cdot SD$

※ 附表に掲げる耐震診断方法のうち、「○」印のある方法における安全性の区分については、補正係数(表中のU及び I_{s0} 算出する際に用いるU)を1.0とした場合を示しています。

※ 表中の「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性」については震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示します。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはありません。